



2月2日の節分の日、グループホーム・み里では節分の豆まきを行いました。「鬼は外、福は内」と大きく元気な声で、豆の代わりになる玉を勢いよく鬼に投げられていました。最後は福や鬼の面をつけて写真撮影を行い、素敵な節分になりました。



栄養課



3月2日、3日の2日間でひな祭りメニューを提供しました。菜の花や新じゃが・新ごぼう・いちごなど、春の食材をふんだんに使ったメニューを取り入れました。おやつは桜蒸しパンや桜餅も手作りで、心を込めて作りました。皆様春を感じていただけただけでしょうか！

ヘルパーステーション里見より

利用者のニーズに合わせて身体介護、生活介護の中から調整してサービスを決めさせていただきます。詳しくはご相談ください。

発行元 医療法人英然会

広報委員会 中津市中央町1-8-36

<http://www.eizenkai.jp/>



英然会だより

69号

令和3年4月発行

医療法人 英然会 里見医院



心のサプリメント『タチツテ』

《テ》テは手。手は五本の指を開いた、手のひらの形を書いた字。前足の役割から自由になった手は物づくりをはじめ道具をつくります。手の使用と脳の発達は相互に共進化を起こして現代人になります。だんだん器用になった手は発明を重ねて文明を生み出し時代を進めてきました。石器から青銅器。鉄器から合成金属器。文明は人の手によって作り出された機器によって時代区分されています。技術革新による機器類の進歩と発展は必然的に人の活動範囲も拡大してきました。ちなみに半導体の集積回路でつくられた電子機器であるコンピューター技術の進展は新たな時代として区分されるはず。コンピューターによるインターネット通信は地球大の情報ネットワークを構築し、膨大な情報を蓄積、更新してきています。蓄積されたビッグデータは人工知能(AI)技術により、プログラムに応じた回答を得て既に各分野で活用されています。《手は心のサプリメントです》。手でキーボードをたたけば人工知能搭載のロボットがあなたの言動を代行してくれるでしょう。手で思いのたけを綴り、手と手を繋いでいけば世界平和に近づくかもしれません。人工知能が人と人、国と国との相互理解を深め、人類の幸福と世界平和のために役立つことを願うばかりです。

医療法人 英然会 理事長 里見隆彦